

地元の偉大な博士 伊藤圭介の活躍

誕生

1803年

町医者・西山玄道の次男として
名古屋呉服町(今の錦三丁目)に生まれる。



「生家の写真」(名古屋市東山植物園 所蔵)



25歳

1827

長崎にてシーボルトに師事。
西洋博物学を学ぶ。
帰郷時、ツンバルク著
「フロラ・ヤポニカ」を授かる。



フロラ・ヤポニカ 葉の頁
(名古屋市東山植物園 所蔵)



シーボルトからもらった顕微鏡
(名古屋市東山植物園 所蔵)

27歳

1829

「フロラ・ヤポニカ」をもとに、
「たいせいほんそうめいそ泰西本草名疏」を刊行。
日本の植物をラテン名・和漢名で照合、
日本で初めてリンネの植物分類法を紹介した。
「おしべ」「めしべ」「花粉」などの言葉が
圭介によって作られた。

「泰西本草名疏」は
ケース内にて
展示中

73歳

1875

「日本植物図説 草部I初編」刊行。

「日本植物図説草部I初編」は
ケース内にて
展示中

68歳

1870

名古屋大学医学部の前身である
医学講習所の設立請願書を
他2名と提出。

「種痘書用留」

1871年の仮病院、
仮医学校開設へ進展した。

「種痘書用留」は
ケース内にて
展示中

61歳

1863

尾張へ戻り
「てあてしうごえいコレラ手当素人心得書」を刊行。
コレラ流行時に、ドイツ家庭用医学書の
コレラ部分を抄訳し頒布した。



暴瀉病手当素人心得書
(名古屋市蓬左文庫 所蔵)

86歳

1888

日本初の理学博士の
称号学位を受ける。

理学博士

99歳

1901

逝去。
政府は東京大学名誉教授の称号、
正四位勲三等と学者として
初の男爵を授けた。

59歳

1861

江戸幕府の
蕃書調所物産学出役のため江戸へ。
動植物金石類の研究に専念。

50歳

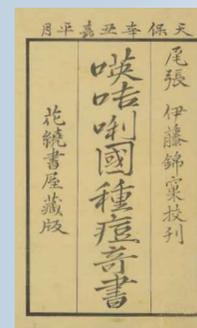
1852

藩より取調の命を受け、
尾張藩種痘所を設置。
尾張藩の種痘取締と
監督を命じられる。

39歳

1841

「イギリス国種痘奇書」を刊行。
日本に初めてジェンナーの
牛痘種痘を紹介し、
その後の種痘普及の
下地が作られた。

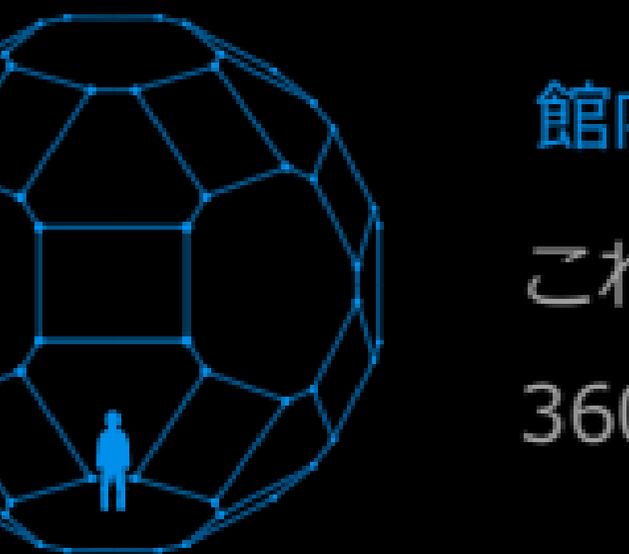


啖咭喇国種痘奇書
(名古屋市蓬左文庫 所蔵)

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcmmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.